

チェック項目		はい	いいえ	意見	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7		<ul style="list-style-type: none"> 現在は最大3名の利用のため、十分なスペースを確保することができている。 利用児に合わせて椅子やテーブルを整備し環境を整えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用児の動きに合わせて、環境を変えるなど配慮することができています。また、十分なスペースを確保できているため円滑に活動を進めることができています。
	② 職員の配置数は適切であるか	7		<ul style="list-style-type: none"> 利用児に対して、十分な職員数を配置することができている。 	<ul style="list-style-type: none"> 全指導員がかかわることで、様々な視点から支援を提供することができています。
	③ 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7		<ul style="list-style-type: none"> 大きな文字や絵を使うなどわかりやすく対応している。 トイレや手洗いは体の大きさに合わせてステップ台を使うなど配慮している。 視覚刺激を減らせるようカーテンを 	<ul style="list-style-type: none"> 利用児が理解しやすいようにスケジュールを組み一日の流れを確認しています。 レク、自由あそび、食事等、活動ごとに区切りをつけるなどメリハリをつけた生活をしています。
	④ 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子どもたちの活動に合わせた空間となっているか	7		<ul style="list-style-type: none"> 清掃・消毒は徹底して行っている。 利用児の目線に合わせて玩具の配置などを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 生活空間の消毒作業は、日常の清掃のほかに玩具、棚、ドア等随時行っています。 おむつ交換時は、専用のマットを使い区切られた空間で行っています。
業務改善	⑤ 業務改善を進めるためのP D C Aサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	7		<ul style="list-style-type: none"> 日常の支援について、小さなことでも職員全体で振り返りを行っている。 情報は常に共有しその日の課題やレクリエーションは利用児に合わせたものを考えている。 	<ul style="list-style-type: none"> 個別支援記録をもとに、職員間で振り返りをしています。その中で出てきた課題を振り返り、次の目標設定に繋げています。
	⑥ 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7		<ul style="list-style-type: none"> 保護者向けのアンケートを実施している。 利用時に出る保護者様の意向や要望を取り入れ業務改善に繋げている。 	<ul style="list-style-type: none"> 毎年、保護者様に対し評価表を配布し事業所の評価をいただいています。
	⑦ 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7		<ul style="list-style-type: none"> 事業所職員向けに評価アンケートを実施。評価をしている。 事業所のホームページで公開している。 	<ul style="list-style-type: none"> 職員向けに自己評価を行っています。評価した内容は事業所のホームページにて公開しています。
	⑧ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		7	<ul style="list-style-type: none"> 第三者による外部評価は行っていません。 	<ul style="list-style-type: none"> 現在、第三者による自己評価は行っていません。
	⑨ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7		<ul style="list-style-type: none"> 外部研修に参加している。 毎月、社内研修を開催している。 	<ul style="list-style-type: none"> 外部研修が増えてきているので積極的に参加できるようになっています。また、研修委員会を立ち上げ、社内での研修を企画することで研修への参加の機会が増えていきます。
適切な支援の提供	⑩ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を作成しているか	7		<ul style="list-style-type: none"> 保護者様と面談し、細やかな対応の中ニーズや課題を聞いたうえで作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> 6ヶ月毎の個別支援計画更新時に面談を行い、本人及び保護者様の両方から話を聞いています。その中で出た課題やニーズを分析し個別支援計画を作成しています。
	⑪ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7		<ul style="list-style-type: none"> 全事業所、統一されたアセスメントシートを使用している。 	<ul style="list-style-type: none"> 統一されたアセスメントシートを使うことで現状の把握ができています。

適切な支援の提供	⑫	個別支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	<ul style="list-style-type: none"> ・支援内容は具体的に設定、表記されている。 ・個々に必要で適切な支援内容になっている。 ・ガイドラインに基づいて計画を作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画には、長期目標、短期目標を設定しそれに沿って、具体的な支援目標を立てています。また、支援内容に関しても必要な項目を選択し設定しています。
	⑬	個別支援計画に沿った支援が行われているか	7	<ul style="list-style-type: none"> ・日々、計画に沿った支援ができるよう努めている。 ・支援方法の確認、振り返りを行っている。 ・支援会議を開催している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・月一回、支援会議を開催し情報共有をするとともに支援方法の確認を行っています。また、日々のかかわりの中で気になることがあればその都度話し合いの場を設け確認しています。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	<ul style="list-style-type: none"> ・レク担当で相談し立案している。 ・毎週、レク会議を開催している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動プログラムに関しては、レク担当指導員が数名で立案しています。また、レク案については、利用児の意見も取り入れるようにしています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	7	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児に合わせて、プログラムが固定化しないよう工夫をしている。 ・研修や他事業所で行ったレクを参考にしている。 ・静と動を組み合わせ偏らないようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の活動に関しては、固定化しないように新しいものを取り入れています。また、内容についてはその日利用するお子様の年齢や特性に合わせて工夫しています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる個別支援計画を作成しているか	7	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に応じて個別、集団活動を組み合わせている。 ・状況に応じて、必要な計画を作成している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・個別活動時と集団活動時の両面から課題を話し合い、状況に応じて必要な支援内容を個別支援計画に反映しています。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝打ち合わせを行い確認している。 ・打ち合わせでは、情報共有、役割分担、支援内容の確認をしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員が揃った時間に打ち合わせを行い、支援内容の確認や情報共有を行っています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎終了後、気になった行動があったときには職員間で共有している。 ・支援記録を記入し振り返りを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援終了後や翌日の朝打ち等で振り返りを行い支援内容の確認、分析をしています。話し合う中で、よりよい方法を共有し次の支援に役立てています。
	⑲	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	<ul style="list-style-type: none"> ・支援に対して、利用児の行動や発言など日々細かく記入している。 ・支援記録は毎日必ず記入している。 ・職員間で内容を共有し検証することで改善に繋げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援記録の記入の際には、読み返しても状況がわかるように、だれがどのようにかかわったかなど詳しく書くようにしています。また、客観的な視点で書くよう心掛けています。
	⑳	定期的にもモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断しているか	7	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間で評価会議を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・6ヶ月毎に評価会議を行い、計画の見直しをしています。必要なときにはその都度、面談や会議を開催し随時見直しをしています。
	関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	<ul style="list-style-type: none"> ・児発管が参加し、情報共有及び情報提供を行っている。
㉒		母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて関係機関と連携している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・美唄市こども未来課、保健センター、相談支援事業所等の関係機関と連携し、適切な支援ができるよう努めています。
㉓		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	7	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、対象となる児童の利用はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在、対象となる児童の利用はありません。

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	②4	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	7		・現在、対象となる児童の利用はない。	・受け入れに際しては、医療機関やその他の関係機関と十分に連携を図り情報共有をしています。	
	②5	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7		・支援内容、特性など情報共有をし相互理解を図っている。	・特性に配慮した支援の経過や対策を引継ぎ、必要に応じて関係機関と面談するなど情報共有をしています。	
	②6	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7		・必要に応じて適宜行っている。 ・支援の経過、特性などの必要な情報を共有している。	・小学校入学時には、市の推進会議に参加し情報共有をするとともに相互理解を図っています。また、必要であれば担当者会議を開催しています。	
	②7	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7		・研修に参加している。	・毎年、美唄市で開催される研修会に参加しています。また、必要に応じて情報共有の場を設け、助言をいただいています。	
	②8	保育所や認定こども園、幼稚園等の交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7		・現在は交流の機会を設けていない。	・現在は実施していませんが、今後地域交流ができるよう検討していきます。	
	②9	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	7		・参加している。	・美唄市で開催される、美唄市障がい者自立支援協議会の会議に参加しています。	
	③0	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7		・連絡帳や電話、送迎時に直接話すなど、その日の出来事や状況をお知らせしている。	・日々の様子は、連絡帳や送迎時にお伝えしています。また、必要に応じて電話での情報共有もしています。	
	③1	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	2	5	・会社の取り組みとして、保護者対象の学習会を開催し、参加を促している。 ・ペアレントトレーニング等は行っていない。	・専門的なプログラムは行っていませんが、相談を受けた際には個別にアドバイスをするなど対応しています。	
	保護者への説明責任等	③2	運営規定、利用者負担額等について丁寧な説明を行っているか	7		・契約時に詳しく説明している。	・運営規定、利用者負担額等は契約時、支援内容については個別支援計画を作成、説明する際に詳しくお伝えしています。
		③3	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「個別支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から個別支援計画の同意を得ているか	7		・説明し同意を得ている。	・個別支援計画作成時に、本人及び保護者様に説明し同意のサインをいただいています。
③4		定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7		・相談があったときには随時対応している。 ・保護者様の様子を気にかけて相談しやすい環境を整えている。	・相談があったときには面談の場を設けるなど、ゆっくりと話せる体制を整え対応しています。また、日々話をする機会を作ることで、いつでも気兼ねなく相談していただけるよう努めています。	
③5		父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	3	4	・現在、父母会の活動は行っていない。 ・系列事業所で開催される保護者向け学習会への案内をしている。 ・連携を支援できるようなイベントを企画している。	・現在、父母会の活動はありません。保護者同士が交流できるようなレクリエーションや学習会を企画しているところです。	
③6		子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7		・相談や申し入れに対しては速やかに対応している。	・相談や申し入れがあった場合には、事業所内で共有し、速やかに対応できるよう心がけています。	

保護者への説明責任等	③⑦	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	毎月、「ひかりだより」を発行している。	・毎月「ひかりだより」を発行することで、日々のひかりでの様子を写真等を用いてお知らせしています。また、行事のスケジュールや持ち物、その他のお知らせについても掲載するほか、連絡帳やLINEも活用させていただいています。
	③⑧	個人情報の取扱いに十分注意しているか	7	・十分注意している。	・今後も個人情報の管理、扱いについては十分注意していきます。
	③⑨	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7	・個々の特性に合わせて配慮している。 ・視覚支援など取り入れている。	・利用児や保護者様の様子、状況に合わせて丁寧な対応を心がけています。
	④⑩	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業所運営を図っているか	7	・町内会活動に参加している。 ・お祭りを開催した際にキッチンカーの案内を地域のご家庭に配布している。	・地域の町内会活動に参加しています。今後も地域との交流ができるよう連携を図っていききたいと思います。
非常時等の対応	④⑪	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7	・各種マニュアルを作成している。 ・事業所としては毎月避難訓練を計画し実施している。	・各種マニュアルを策定し、職員間で周知しています。保護者様へのマニュアル周知はできていませんが、感染症の情報提供や避難訓練の実施についてはおたより等でお知らせしています。
	④⑫	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	・児発の時間帯に訓練を行うことができていない。	・事業所としては毎月一回、様々な災害を想定し避難訓練を実施しています。しかし、児童発達支援の時間帯に行うことができていない現状にあるので、今後は定期的に企画し訓練を行えるよう検討していきます。
	④⑬	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7	・契約時に確認している。 ・随時、保護者様と連携し子どもの状況を確認している。	・契約の際の面談で、保護者様から詳しく状況をお聞きしています。また、変化があったときにはその都度お知らせいただき、状況の把握をしています。
	④⑭	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	7	・面談時や調査票等で詳しく確認している。 ・アレルギーがある場合は対応方法を確認している。	・アレルギーに関しては、保護者様からの情報のもと必要があれば医師の判断を仰ぎ対応しています。
	④⑮	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	・事例が発生した際には、職員全体で状況の振り返りを行っている。 ・再発防止策を検討している。	・今後も、事例が発生した際には状況の確認把握をし再発防止に努めていききたいと思います。
	④⑯	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応を行っているか	7	・外部で行われる虐待防止研修に参加している。 ・事業所内では年4回、虐待防止にかかわる研修を開催している。	・外部研修に参加し、事業所内で伝達研修を行うことで虐待防止への理解を深めています。また、事業所内で独自の研修を行うことで意識を高め支援にかかわることができています。
	④⑰	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	7	・面談の際に説明し了承を得ている。	・やむを得ず身体拘束を行う場合は、保護者様へ丁寧に説明し、個別支援計画に記載したうえで同意を得ています。